

8. その後直ちに魔法ローラーの4インチに塗料用シンナーを付けて再現した柄の端部ラインの主材に強く押し付けて既存柄側に馴染ませてボカシ処理完了とする。
こうする事で吹付補修部の柄合せが目立たなく綺麗に仕上がります。

※最後の4インチによる既存柄方向への馴染ませボカシ処理を行わなかった場合は、取合が目立ちますので、必ずこの馴染ませボカシ処理を行って下さい。



魔法ローラー(F1-7吹放し玉吹き模様) 実践施工要領書



1. 樹脂モルタルによる下地補修は既存塗膜との段差がない様にハケ引程度に仕上げる。(ツルツルの鏡面にしてしまうと魔法ローラーが滑ってしまう為)



6. その後直ちに魔法ローラーの4インチに塗料用シンナーを付けて再現した柄の端部ラインの主材に強く押し付けて既存柄側に馴染ませてボカシ処理完了とする。



3. シーラー乾燥後、アクリルタイルローラー用を無希釈でスモールマスチックローラーを用い、スチップル模様になる様に配り塗りをする。(L1のリシン柄の場合は少し塗布量を減らします)



4. 配り塗り完了後直ちに魔法ローラーに塗料用シンナーを付けて、強めに押し付けながら下から上へ、又は右から左へと魔法ローラーを転がして柄を再現して行く。



5. その後直ちに魔法ローラーの4インチに塗料用シンナーを付けて再現した柄の端部ラインの主材に強く押し付けて既存柄側に馴染ませてボカシ処理完了とする。

